

# 令和6年度第5回朝日町総合教育会議 会議録

令和6年10月22日（火曜日）

午後10時10分から午前11時55分

エコミュージアムコアセンター創遊館会議室

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸  
朝日町教育委員会  
教育長 堀 俊一  
委員 五十嵐義一  
委員 井上 幸弘  
委員 橋間 博美  
委員 海野 睦

## 職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 伊藤 淳  
主幹兼指導主事 高橋 昭彦  
課長補佐兼学校教育係長 菊地早百合  
主 査 佐久間 淳  
指導主事 齊藤 絵里  
生涯学習係長 白田 淳

## 1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

## 2. あいさつ

町 長 義務教育学校の校名を決定する会議となる。よろしくお願ひしたい。

教育長 義務教育学校の校名は11月1日調整施行70周年記念式典の交流に発表する。

本日の総合教育会議の中で決定していただく。よろしくお願ひする。

## 3. 協議事項

伊藤課長より会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

**議長（町長）** 「（1）朝日町立義務教育学校校名について」に関し、説明を求めた。

**伊 藤** →資料に基づき、一次選定、二次選定、最終選定の結果について説明。

最終選定で2点まで絞り込み、決定は総合教育会議に一任することになった。

**教育長** 最終選定では2次選定で選んだ3点について議論したが、C案の朝日希望の森学園を選んだのは1人のみだった。その結果、Aのあさひ未来学園とBの学び舎あさひから選ぶことになったが、おおよそ賛同者が半々で議論が白熱した。お互いを尊重しながらも、主張する意見は相反しており、最終的には本会議へ一任するという形になった。

**町 長** ただ今の説明内容や「校名選定の観点」も参考にさせていただきながら、皆さんから意見

を伺いたい。

五十嵐

「あさひ未来学園」は、語呂は良いが、福島県のふたば未来学園のように、他にもある名称というのが気がかりだ。一方、「学び舎あさひ」は新しく、他にはないユニークな名称だが、なかなか言いにくく、すんなり出てこない面がある。悩ましいが、最終的に選ぶとすれば、「あさひ未来学園」を推したい。福島県にはあるが、山形県にはまだないので、問題ないと思う。

井上

「学び舎あさひ」を推したい。未来とか希望という言葉はあえて入れなくてもよいのではないか。朝日町は生涯学習のまちを宣言しているほか、現在はコミュニティスクールを推進している。スクールコミュニティというか、学校を地域とともに歩む存在として捉えており、新たな義務教育学校も従前の学校教育だけの施設ではないものに位置付けようとしている。これらを総合すると、子どもから大人まで広い年代が集える「学び舎あさひ」しかないと思う。

橋間

「あさひ未来学園」を推したい。校名募集の結果、100人を超える子どもたちが「学園」という名称を使っていた。子どもたちのこうした想いを考えると、「あさひ未来学園」としたい。子どもたちを第一に考えたい。

海野

「学び舎あさひ」を推したい。「学園」と聞くと、ドラマやアニメの華やかなで楽しいイメージがあるが、児童、生徒に限定されるイメージもある。地域と交流しながらみんな学んでいくことを考えると、違うような印象がある。

一方、「学び舎」の方は響きが素朴で温かい印象。朝日町にとって、等身大な感じがする。学び合ってみんなで築き上げていくことをイメージできる。余白のようなものを感じることができるのもいい。

教育長

「学び舎あさひ」を推したい。2案は対立軸がはっきりしている。例えば、子ども目線で考えれば「未来学園」、大人も一緒に学ぶ場所ということ優先すれば、「学び舎あさひ」というものだ。ただし、朝日町は「コミュニティスクール」を教育行政の1丁目1番地として推進してきた経緯があり、今後は学校を核にしたまちづくり「スクールコミュニティ」に発展させようとしている。こうした点を踏まえれば、「学園」より「学び舎」の方が、多くの年齢の方々が集まり学ぶ場所として捉えやすいのではないか。

「学び舎」で学校名を検索すると、福島県の「学び舎ゆめの森」くらいしか出てこないが、「未来学園」で検索すると先ほど五十嵐委員からあったように、たくさんある。オリジナリティは重要で、朝日町の過去の歴史を紐解いても、空気神社や朝日自然観がある。当時は聞いたことがないような名称だったが、今となっては今や町の象徴的な存在になっており、素晴らしいネーミングだ。これらのことを考えても、こちらを推したい。

町長

「あさひ未来学園」を推す。義務教育学校を作ることになったのはなぜか。それは、子どもたちのためだ。誰のための学校か。第一には子どもたちのことを考えなければならない。生涯学習やコミュニティスクールの考え方もあるが、一番大切にすべきは子どもたちではないか。「学園」という呼称で応募してくれた人数にも応えたい。校名選定の視点の視点から考えても、「未来学園」の方がふさわしいと考える。

「学び舎あさひ」について、「子どもには馴染みがない言葉なので良さが伝わりにくいかもしれないが、成長とともにわかっていけばいい。小さいときにわからなくてもそれはそれでいい」という意見があったが、それは大人の理論ではないか。

井上

「未来学園」という言葉は一般的すぎて、どこでも使われる言葉になっている。子ども

目線が大事なのは理解するが、子どもを育てる親を含めた町としてどうするかを考えた場合、本当にそれでいいのか。「こども」「未来」という言葉は、世の中にあふれている。

伊藤  
佐久間

学校名の前につける名称も確認したい。

県内の義務教育学校3校をはじめ、視察してきた学校はすべて市町村立〇〇学校（学園など）だった。必ずしも義務教育学校だから義務教育学校という名称を付けなければならないわけではない。

教育長

子どもの立場に立てば、学校名を記入する際、短い方が良い。書かずに済むのであれば書かなくて良いと思う。

一同

（義務教育学校という呼称は）なくてもよい。

町長

事務局での検討は。選定の観点と照らし合わせてどうなのか。

伊藤

どちらも合っていると思う。問題ない。

伊藤

（意見が出尽くしたところを見て）新たな学校は町長が設置者となる。委員の皆さんの意見を踏まえ、町長から最終判断していただく形でどうか。

一同

賛成。

町長

準備委員会と総合教育会議で十分に議論していただいたと思う。最終的に2案をそのまま出すわけにはいかない。熟慮に熟慮を重ねた結果、「朝日町立あさひ未来学園」とさせていただく。

一同

拍手

町長

様々な意見が出たが、総合教育会議の決定ということでお願いしたい。

町長

「(2) 朝日町立義務教育学校施設に関するアンケート結果について」に関し、説明を求めた。

佐久間

資料に基づき、結果を説明。

井上

学校施設の地域開放に関して、安全面を心配する声が多いようだ。特に教員の立場に立てば、業務が増えることを懸念するのかもしれない。

伊藤

安全対策を講じながら進めていくことを丁寧に説明していきたい。

教育長

北部地区の山交バスについて、スクールバスへの切り替えを求める声が多く寄せられている。一方でできるだけ歩かせたいという声もある。大きな決断となるが、町の交通政策に大きくかわるため、町長部局と協議し慎重に判断していきたい。

町長

町の総合交通体系の中で考えていきたい。

井上

山交バスを運営する（株）ヤマコーの中には、交通体系を総合的に考える部署がない。自治体から補助金をもらいながら現状路線を維持すること基本で、維持が難しくなった路線は運航廃止にするだけだ。こうした会社に何か建設的な対応を求めても難しいだろう。（山形市役所勤務時代の経験を踏まえた話）

橋間

図書館の地域開放に関して、本当にそれでいいのか疑問に感じている。うまくいっている事例があれば教えていただきたい。

佐久間

北海道の安平町立早来学園が一番うまくいっているように見えた。今後さらに情報を収集していきたい。

アンケートでは、安全面の不安が最も多かったのは事実だが、役場や住宅地に近い創遊館から移転することで利便性が悪くなることを危惧する声もあった。ただ、最近の利用

者を見ると、徒歩や自転車で来館する人はほぼおらず、大半は車だ。よって、どこにあっても、問題ないのではないか。

教育長 義務教育学校では大人の人と子どもたちが積極的に変わる機会を増やしていこうとしている。セキュリティ対策を講じながら進めていきたい。

井 上 学校図書館の場合低学年では十分かもしれないが、高学年の場合なるべくたくさんの本に触れさせることが重要。町立図書館と一緒にすれば（量が増えれば）、そうした部分もカバーできるのではないか。

町 長 現在の町立図書館を残すことに対する反対意見は？

佐久間 主に分館に対する反対意見だ。現状、創遊館内の図書館は保育園と隣接しているため、幼児向けの図書のみ残すことを検討しているが、親子で本を借りたい場合、2か所を回ることになる。そのほか、分館だと人的、財政的にも効率が下がる。これらを指摘しつつ、分館に反対する声も多かった。

町 長 町民体育館に関するものは？

伊 藤 町民体育館の機能を持たせたいと考えている。今の町民体育館は築 50 年以上で、使用できるのはあと 10 年から 15 年程度と推測される。詳しい設計はこれからだが、アンケートの内容を十分考慮したものにしていきたい。

町 長 「(3) 朝日町立義務教育学校敷地利用（造成計画）について」に関し、説明を求めた。  
伊 藤 資料に基づき、現在の検討内容を説明。

※段差をつけた設計にすると、設計の提案が限られてくる。

フラットにすると、提案はしやすいものの、造成費がかかる。

→質疑なし

#### 4. 閉 会

以上協議し、午前 11 時 55 分に第 5 回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

町 長

教 育 長

調 製 職 員 佐久間 淳